

ST ダコニール 1000

有効成分：TPN…40.0%

農林水産省登録 第 21759 号

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びTPNを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

①散布剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
ばら	黒星病、うどんこ病、斑点病	1000 倍	100 ～ 300L/10a	発病前～発病初期	6 回以内	散布
花き類・観葉植物(ばら、きく、チューリップ、ゆり、りんどうを除く)	うどんこ病、斑点病					
きく	黒斑病、褐斑病、白さび病、うどんこ病、斑点病					
チューリップ	褐色斑点病	1,000 倍	3L/10a			無人航空機による散布
		10 ～ 30 倍				
ゆり	葉枯病、斑点病	1,000 倍	100～300 L/10a			
りんどう	葉枯病、褐斑病					
西洋芝（ベントグラス、バーミューダグラス）	ヘルミントスポリウム葉枯病、葉腐病（ブラウンパッチ）	500～750 倍	1L/m ²	発病初期	8 回以内	
しそ	斑点病(株枯症)	1,000 倍	150L/10a	収穫前日まで	4 回以内	株元散布
なす	黒枯病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病		100～300 L/10a			散布

きゅうり	べと病、炭疽病、うどんこ病、黒星病、灰色かび病、褐斑病				本剤:12 回以内 TPN: 14 回以内(但し、土壌灌注は2 回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計 12 回以内)	
トマト	疫病、輪紋病、葉かび病、炭疽病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病、褐色輪紋病、斑点病				本剤:4 回以内 TPN: 6 回以内(但し、土壌灌注は2 回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計 4 回以内)	
ミニトマト	疫病、輪紋病、葉かび病、炭疽病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病、斑点病、褐色輪紋病、				2 回以内	
ピーマン	斑点病、うどんこ病、黒枯病、炭疽病				3 回以内	
オクラ	葉すす病			収穫前日まで	5 回以内	
レタス	灰色かび病 すそ枯病、べと病			収穫 14 日前まで	本剤: 3 回以内 TPN : 5 回以内(但し、土壌灌注は2 回以内 散布及び無人航空機散布は 3 回以内)	
非結球レタス				収穫 21 日前まで	2 回以内	
なばな類*(なばなを除く)	白さび病、べと病、白斑病、黒斑病			収穫 60 日前まで	3 回以内	
なばな				出蓄前但し収穫 21 日前まで		

非結球はくさい	白斑病			収穫 28 日前まで	2 回以内			
キャベツ	べと病、根朽病			収穫 14 日前まで	本剤: 2 回以内 TPN : 3 回以内(但し、は種又は定植前の土壌混和は 1 回以内、散布、無人航空機散布及びエアゾル剤の噴射は合計 2 回以内)			
はくさい	白斑病、べと病、黒斑病、白さび病			収穫 7 日前まで	本剤: 2 回以内 TPN : 3 回以内(但し、は種又は定植前の土壌混和は 1 回以内、散布及び無人航空機散布は 2 回以内)			
ブロッコリー	べと病			出蕾前(但し、収穫 21 日前まで)	本剤: 2 回以内 TPN : 3 回以内(但し、土壌灌注は 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)			
カリフラワー				出蕾前(但し、収穫 14 日前まで)	3 回以内			
だいこん	白さび病、ワツカ症、白斑病、炭疽病			収穫 45 日前まで				
しょうが	紋枯病、白星病			収穫 14 日前まで	5 回以内			
	白星病							16 倍
みょうが(花穂)	葉枯病、紋枯病			1000 倍	100~300L/10a		4 回以内	散布
みょうが(茎葉)								

				の収穫 14 日前まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで		
らっかせい	褐斑病	500 倍		収穫 14 日前まで	本剤: 3 回以内 TPN:4 回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計 3 回以内)	
ねぎ	黒斑病、べと病、小菌核腐敗病、葉枯病、さび病	1,000 倍			本剤: 2 回以内 TPN:3 回以内(但し、土壌灌注は1回以内、散布は 2 回以内)	
わけぎ					3 回以内	
らっきょう					灰色かび病	
たまねぎ	べと病、灰色かび病、白色疫病				収穫 7 日前まで	6 回以内
にんにく	葉枯病、黄斑病、白斑葉枯病、さび病		本剤: 5 回以内 TPN:5 回以内(但し、種子への吹き付け処理 1 回以内)	無人航空機による散布		
にんじん	黒葉枯病	8 倍	1.6L/10a	5 回以内		散布
		16 倍	3.2L/10a			
ばれいしょ	疫病	500~1,000 倍	100~300 L/10a			
	夏疫病	1,000 倍				
	疫病、夏疫病	8 倍	1.6L/10a			
		16 倍	3.2L/10a			

うり類(漬物用、 ただし、ゆうが おを除く)	炭疽病、うどんこ病、 べと病、つる枯病	1,000 倍	100~30 0L/10a	収穫前日まで	4 回以内	散布
にがうり	炭疽病、うどんこ病、 べと病、斑点病、つる 枯病				5 回以内	
ゆうがお	炭疽病、うどんこ病、 べと病					
かぼちゃ	べと病、白斑病、うど んこ病			3 回以内		
ズッキーニ	うどんこ病					
ごぼう						
すいか	炭疽病	700 倍		収穫 3 日前まで	5 回以内	
	つる枯病	700~1,0 00 倍				
メロン	うどんこ病	700 倍				
	べと病	700~1,0 00 倍				
	つる枯病	1,000 倍				
セルリー	斑点病、萎縮炭疽病					
やまのいも	炭疽病、葉渋病、つる 枯病					
やまのいも(む かご)						
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐 斑病、疫病		100~400 L/10a	収穫前日前まで	4 回以内	
みつば	べと病		100~300 L/10a	根株養成期(但 し、収穫 75 日前 まで)	3 回以内	
うど	黒斑病	根株養成期(但 し、収穫 200 日 前まで)		本剤：3 回以内 TPN：4 回以内(但 し、散布は 3 回以		

					内、根株瞬間浸漬は1回以内)	
ふき	灰色かび病			収穫21日前まで	2回以内	
あしたば	黒枯病			収穫30日前まで	3回以内	
しゃくやく(薬用)	うどんこ病			収穫45日前まで	15回以内(但し、1年間に3回以内)	
せんぶり	さび病			収穫7日前まで	12回以内(但し、1年間に6回以内)	
みしまさいこ	炭疽病	800倍		収穫30日前まで	3回以内	
食用ぎく	褐斑病				4回以内	
食用ゆり	葉枯病			収穫14日前まで	6回以内	
てんさい	褐斑病			収穫30日前まで		
りんご	斑点落葉病、モニリア病、黒星病	1,000倍		収穫45日前まで	3回以内	
なし	黒斑病、黒星病					
もも					6回以内	
ネクタリン	灰星病、黒星病					
いちじく	疫病、黒葉枯病、黒かび病、さび病	2,000倍		収穫前日まで	2回以内	
パパイア	炭疽病	1,000倍			5回以内	
キウイフルーツ	果実軟腐病	500~1,000倍	200~700 L/10a	収穫60日前まで	7回以内	
	すす斑病	500倍				
パッションフルーツ	円斑病、疫病			収穫14日前まで		
かりん	黒点病、ごま色斑点病、白かび斑点病	1,000倍		収穫45日前まで	3回以内	
マルメロ	ごま色斑点病			収穫30日前まで	4回以内	
茶	もち病、炭疽病、輪斑病、新梢枯死症(輪	700~1,000倍	200~400 L/10a	摘採10日前まで	1回	

	斑病菌による)					
	網もち病、褐色円星病	1,000 倍				
	黒葉腐病、灰色かび病	700 倍				
もりあざみ	ステムフィリウム葉枯症	1,000 倍	100~300 L/10a	収穫 30 日前まで	3 回以内	
たばこ	うどんこ病	700~1,000 倍	25~150L /10a	収穫 10 日前まで	2 回以内	
しきみ	炭疽病	1,000 倍	200~700 L/10a	発病前～発病初期	6 回以内	
つつじ類	褐斑病					

* 「なばな類（茎葉及び花蕾を収穫するもの）」には「太田かぶ」が含まれます。

②土壌灌注剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期※	総使用回数※	使用方法
レタス	ビッグベイン病	1,000 倍	1.5~3L/m ²	収穫42日前まで	本剤:2 回以内 TPN:5 回以内 (但し、散布は 3 回以内、土壌灌注は 2 回以内)	土 壌 灌 注
ブロッコリー	根こぶ病		3L/m ²	定植時	本剤:1 回 TPN:3 回以内 (但し、土壌灌注は 1 回以内、散布及び無人航空機散布は合計 2 回以内)	
ねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	500 倍	0.5L/m ² セル成型育苗トレイまたはペーパーポット 1 冊 (30×60cm)、使用土壌約 5L)あたり 0.5L	出芽揃い後(出芽 3 日後～10 日後まで)	本剤:1 回 TPN:4 回以内 (但し、土壌灌注は 1 回以内、散布は 3 回以内)	
わけぎ			0.5L/m ²		本剤:1 回 TPN:3 回以内 (但し、土壌灌注	

					は 1 回以内、散布は 2 回以内)
みずな	立枯病	1,000 倍	3L/m ²	は種時	1 回
稲 (箱育苗)	苗立枯病 (リソープス菌)	500~1,000 倍	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5L) 1 箱あたり希釈液 500 ml	は種時から緑化期 但し、は種 14 日後 まで	2 回以内
		1,000~2,000 倍	育苗箱(30×60×3 cm、 使用土壌約 5L) 1 箱あたり希釈液 1L		
きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	1,000 倍	3L/m ²	は種時又は活着後 (但し、定植 14 日後まで)	本剤: 2 回以内 TPN : 14 回以内 (但し、土壌灌注は 2 回以内、 散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計 12 回以内)
トマト					本剤: 2 回以内 TPN : 6 回以内 (但し、土壌灌注は 2 回以内、 散布及びくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計 4 回以内)

③種子消毒剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
にんじん	黒葉枯病	12 倍	乾燥種子 1kg あたり 60 mL	は種前	本剤 : 1 回 TPN : 5 回以内 (但し、種子への吹き付け処理は 1 回以内)	吹き付け処理 (種子消毒機使用)

④常温煙霧剤として使用する場合

作物名	適用場所	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス	べと病	33 倍	10L/10a	収穫前日まで	本剤 : 12 回以内 TPN : 14 回以内 (但し、土壌灌注は 2 回以内、	常温煙霧

	等密閉できる場所					散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計 12 回以内)	
トマト		すすかび病、葉かび病、褐色輪紋病、うどんこ病				本剤：4 回以内 TPN：6 回以内（但し、土壌灌注は 2 回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計 4 回以内）	
なす		うどんこ病				4 回以内	
ピーマン			50 倍			3 回以内	
アスパラガス		褐斑病、斑点病	40 倍			4 回以内	

- 2024 年 6 月 26 日付：なしの変更
- 2024 年 5 月 29 日付：チューリップ、アスパラガス、非結球レタス、非結球はくさい、たばこ、しきみ、つつじ類、ばら、花き類観葉植物、きく、ゆり、りんどうの変更
- 2024 年 4 月 24 日付：はくさい、レタスの総使用回数の変更。
- 2023 年 3 月 8 日付：せんぶり、にんじんの使用方法、トマト（常温煙霧）の追加。
- 2022 年 6 月 22 日付：きゅうり、トマト、ばれいしょ、しょうが、ピーマン、ブロッコリー、キャベツ、ねぎの使用方法の変更および追加。
- 2019 年 12 月 18 日付：きゅうり、トマト、ミニトマト、てんさいの変更。きゅうり、なす使用方法「常温煙霧」の追加。
- 2018 年 10 月 10 日付：うどの変更。
- 2018 年 6 月 13 日付：あしたばの追加。いちじく、レタス、花き類・観葉植物（ばら、きく、チューリップ、ゆり、りんどうを除く）、ばら、きく、ゆりの変更。
- 2017 年 12 月 6 日付：ごぼうの追加。ねぎ、しゃくやく(薬用)の変更。
- 2016 年 9 月 21 日付：アスパラガスの変更、つつじ類の追加。
- 2016 年 7 月 20 日付：ミニトマト、茶の変更。
- 2015 年 6 月 24 日付：オクラの追加。キャベツ、たまねぎ、セルリー、いちじく、茶の変更。
- 2014 年 7 月 23 日付：ミニトマト、ねぎ、わけぎ、にんにくの変更。
- 2013 年 3 月 27 日付：花き類・観葉植物の追加。いちじく、キャベツの変更。
- 2009 年 8 月 5 日付：なばなの使用時期変更。
- 2009 年 6 月 10 日付：トマト、ミニトマト、ピーマン、しきみの変更。
- 2008 年 2 月 6 日付：トマト、ミニトマト、ピーマン、ねぎ、わけぎの変更。

- 2007 年 4 月 4 日付：きゅうり、はくさい、稲（箱育苗）の変更。